

進路だより

卒業おめでとう号
2025年(令和7年)2月26日
大阪府立登美丘高等学校 進路指導部



73期生、卒業おめでとうございます

この3年間でたくさんの大切な思い出ができたことと思います。登美丘高校で得たこと、学んだことをこれからの糧として頑張ってください。応援しています。

*今年度の受験状況から…

私立大学の入試は近年、二極化が進んでいます。受験人口が減少傾向にあるにも関わらず、関関同立、産近甲龍といった難関私立大学には全国から志望者が集まっています。近畿大学は学校推薦型選抜公募制で3年連続受験者数過去最多を更新、一般選抜前期A日程では合格者数が絞られ昨年度より難化、関西大学一般選抜も緩やかな入試であった昨年度よりやや難化しました。とはいえ、2018年頃のような厳しい入試環境はみられず、努力が報われる適正な入試が続いています。早期から受験勉強に取り組み、過去問対策をしっかりしてきた受験生は合格を勝ち取っていますので、2年生も一般選抜での合格を目標に受験勉強を始めてください。立命館大学、産近甲龍については3月後期入試もあり、最後まで頑張り続ければまだまだチャンスはあります。ここが踏ん張り時、3年生は自分の力を信じて粘り強く頑張りましょう。

国公立大学志望者は昨日2月25日に前期試験を受験しました。前期試験の結果発表は3月上旬、中・後期試験については入試が3月中旬で、結果発表は3月下旬に行われます。共通テストの科目負担を敬遠する受験生も多いですが、全国的には国公立大学志望者が微増しており、人気は復活傾向にあります。また、後期日程は見かけの倍率が高く、敬遠されがちですが、前期合格者が抜けるため実質倍率は大きく下がります。後期までしっかり粘って合格を勝ち取ってほしいと思います。

各大学、専門学校の合格者数は現在集計中ですので、最終結果は4月号でお知らせします。3年生の皆さんは卒業後になりますので、HPで確認してください。

*大学入学共通テスト(1月18日、19日)、本校から62名が受験しました！

今年是新教育課程初年度であり、共通テストでは大きな変更がありました。新設の「情報Ⅰ」は全国平均69.22点と高く、丁寧に取り組みれば正解できる問題が多く出題されました。「国語」では第3問「実用的文章」が新設されましたが、マルチテキストの出題が減ったこと、大部分の問題が5択から4択の設定になったこともあり、全体として易化しました。また「英語(リーディング)」ではレポートのアウトラインを完成させる問題など新形式の出題があり、英文を「書く」スキルをマークセンス方式ではかろうというねらいが感じられました。ほかにも数学、地歴公民などで出題範囲や問題形式の変更が見られました。

いずれの科目でも「日常の事象を意識した場面設定」「複数資料の提示」「学習の過程を意識した出題設定」といった共通テストの特徴的な出題傾向は継続しており、「思考力・判断力・表現力」をはかろうという出題者の意図を読み取ることができます。このような問題形式に対応するためには、短時間で大量の情報を処理する力が必要とされます。付け焼き刃の知識では太刀打ちできませんので、授業の中で「なぜそのような答えが導きだされるのか」と答えの根拠を考え、論理的思考力を養うことが効果的な勉強法になります。1、2年生は予習で仮説を立て、授業を受け、復習で知識を定着させるという学習習慣を身につけてください。また、すべての教科で読解力が求められていますので、日頃から本や新聞など様々な文章に触れましょう。

国公立大学を受験する場合、共通テストで6教科8(9)科目の受験を必要とするところがほとんどです。幅広い科目の勉強が必要なので負担が大きく、早期から計画的に勉強に取り組んでいかなけれ

ばなりません。また私立大学では共通テスト利用入試という制度があります。基本的に3科目(文系は英・国・地歴公民、理系は英・数・理)で受験することができ、私立大学の受験機会が増えたり、受験会場まで行かずに滑り止めを確保できたりというメリットがあります。1、2年生も大学入試センターのHPに掲載される過去問をぜひ解いてみてください。

2025年 大学入学共通テスト 校内結果(受験者5名以上の科目のみ)

科目	校内最高点	全国平均点	科目	校内最高点	全国平均点
国語	160/200	126.67	英リーディング	94/100	57.69
数ⅠA	75/100	53.51	英リスニング	77/100	61.31
数ⅡBC	80/100	51.56	化学	47/100	43.34
歴総日史	85/100	56.99	物理	72/100	58.96
歴総世史	87/100	66.12	化学基礎	38/50	27.00
公共政経	85/100	62.66	生物基礎	39/50	31.39
情報Ⅰ	79/100	69.26			

*1年生(1/30)進路講演会、2年生(1/16,19,23,26,30)進路HR・探究について

1年生の1/30の進路講演会では進路についての基礎知識から、今すべきことまで、様々なことを教えていただきました。選択肢の多様さや入試倍率など、大学入試は高校入試と大きく異なります。ここからの1年間は基礎力を作る大切な時期です。地道な努力が必要なトレーニングの時期であり練習を重ねることが勝ちにつながるのです。自らの行動を変えていきましょう。

以下、皆さんの感想の一部です。

- ・勉強は自分のためでなく、「誰かのため」に行うということが印象的で、頑張ろうと思った。
- ・普段は宿題だけして、考査前に一気に勉強するという作業になっていた。スポーツと同じトレーニングという気持ちを持って、姿勢よくコツコツと毎日取り組んでいきたいと思った。
- ・大学入試は号砲のないマラソンであること、高校入試とは難易度、倍率が比較にならないことを知って、3年からではなく今からコツコツ勉強しようと思った。
- ・成績が伸びにくい3項目がすべて当てはまっていたので、伸びにくい理由が分かった。
- ・私は小さい時から1時間毎日勉強するようにと母親から教えられていたことが、よい習慣だったということを知りました。
- ・模試では、大学の判定を気にしていましたが、「健康診断」だと思ふことで、解き直しをしっかりとしていかなければならないと思いました。
- ・自分は、行きたい学部は決まっているが、大学のことをあまり知らないなので、もっと調べて、実際に文化祭に行ってみようと思った。

春休みの宿題は、進路決定の第一歩です。インターネットなどでしっかり調べるとともに、オープンキャンパスにも積極的に参加してください。行きたいという気持ちを持つことが、これからの学習の原動力になります。

2年生の3学期は、進路別対策説明会に始まり、受験生になる準備として勉強方法を学んだり、入試～入学後すぐに必要となるお金についても学んだりしました。さらに、自己PRを書く練習をし、まさに3年0学期として受験に向かって始動する時期でした。進学は自分自身の人生を切り拓くためのものです。受験勉強も進路選択も、「言われたから」ではなく、自分の意思で計画・行動し、自らの未来を掴み取ってください。

3学期に自己PRを書いて添削してもらいましたが、そのアドバイスを参考にし、春休みには改めて自己PRを書き直してもらいます。どんな進路を目指すにせよ、自分を客観的に分析して他人に伝える力は必須となります。特に総合型選抜や学校推薦型選抜の入試では、出願書類や面接において、「自分はこういう長所があり、学ぶ熱意があるので是非入学させてほしい」と訴える力が求められていますので、春休みを利用してよりよい自己PR文が書けるように努力してみてください。

*2年生進路別対策明会(1/16)について

1/16(木)6限目に2年生進路別対策説明会を行いました。10月に行われた学びの分野別ガイダンスではそれぞれの分野の模擬授業を受けて、概要についての話を聞きましたが、今回はそれぞれの分野に分かれ、進路実現に向けた勉強法について聞くことができました。各説明分野の概要と感想を簡単に紹介しておきます。参加しなかった分野の情報についても、よく読んでおきましょう。

説明分野	説明概要(勉強法など)	感想
国公立大学	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎力がついていないと志望校合格に届かない。 ●基礎力がついていないかいは、共通テストの点数で測ることができる。 ●たとえば言うと、基礎力とは引き出しの数。応用力とはその引き出しの使い方。 ●勉強時間は稼ぐことが大切。わずかな時間でも復習する。 ●つもり学習からの脱却し、能動的な学習時間を増やす。(させられている受動的学習では不十分) ●2025年度入試から共通テストはモデルチェンジの初年度だった。次年度に向けてもう準備しておかないと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎がいかに重要かがよく分かった。 ・3年生まで74日、これをどうやって活用するかで、合否が決まるといっても過言ではないと感じた。 ・自習しても伸びないのは、「勉強してるつもりになってる」が心に刺さった。 ・自分の行動をモニタリングし、勉強する習慣を身につけ、苦手克服のための時間を使っているかを日ごろから意識して、勉強に取り組もうと思いました。
私立文系	<ul style="list-style-type: none"> ●一般入試だけよりも、共通テストも受ける方が合格率は上がる。 ●入試問題は教科書から出される割合が高い。 ●3年生になる前に、自分が行きたい進路を明確にしておくのがよい。 ●基礎問題のほうが、応用問題より出る確率が高い。 ●苦手科目の克服には、なぜ間違えたのかを考える。 ●模試が返ってきたら、やり直しをする。 ●小テストを解き直す、定期テストを解き直す、模試を解き直す、のが必要条件。 ●すき間時間を活用する。やるべきことを見える化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日部活があって忙しいと思ってたけどスケジュールを書き出したら思ったより時間があるから継続できるような勉強スケジュールを見直したいと思いました。 ・苦手科目を克服することが一番の伸びしろだとわかりました。 ・塾などに行って勉強すれば、受験に合格できると思っていただけ、授業が大事だと知って驚きました。
私立理系	<ul style="list-style-type: none"> ●大学は甘くない!高校入試では25人中5人不合格とすれば、大学入試では25人中20人不合格となる。 ●勉強もスポーツと練習手順は同じ。 例題→練習・章末問題→模試→過去問 ●効果的な学習計画→理想ばかり並べない、睡眠をしっかりとり、しんどいので単調な学習にならない計画を。 ●英語→毎日英語に触れる、五感を使う(口に出して耳で聞く)、参考書・問題集は1冊ずつ、例文は何度も音読する。 ●数学→標準レベルの入試問題で取り組み方を学ぶ、基礎を固める。 ●理科→学校の問題集で十分。しっかりやりきる(発展問題までやる)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テストでいい点を取るための勉強ではなく、将来のためになる勉強を意識して毎日何かの問題に触れようと思う。 ・「基礎などがぬけていないか、理解できているか」をしっかり確認したい。 ・正直受験を舐めてたけど、このままじゃ本当にまずいと思った。 ・時間が足りないことを改めて実感することができました。

体育系	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツにかかわる職業は「スポーツ研究職」、「プロスポーツ選手」、「イベント企画、マネジメント」、「スポーツトレーナー」などさまざま。 ●面接では、熱意・人間性を尋ねられる。質問例:志望理由、将来の夢、将来目指している職業及びそれを選択したきっかけ、自己アピール、自己に足りないと思うこと(→自己分析をする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学について改めて考えようと思った。 ・面接や小論文を受けるには、体育、スポーツ系の知識をつけていく必要があると知った。
芸術系	<ul style="list-style-type: none"> ●学びたい専門分野が見つかっているのか。 ●同一大学で様々な受験方法があるので、調べ、対策する必要がある。→自分が評価されやすい入試を選ぶことも大切、授業形式、面接形式、共通テスト利用 ●年度によって受験形式が変わるので気を付ける。 ●私立の入学金、授業料には差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験対策には知識が必要なので、オープンキャンパスに参加し、募集要項をよく見ておく。
幼児・教育系 (大学・短大)	<ul style="list-style-type: none"> ●免許について、必ずしもたくさん取得できるわけではない、また教育学部に行かなくても他学部でも取れることがある。 ●小学校教員課程であっても、家庭科・保健体育・音楽などが(授業で)取れない大学がある。 ●短大から3年になるとき大学に転入できる制度あり。 ●教員採用試験を受ける必要がある。 ●面接では、質問に対する答え、その答えに対しての質問、それに答えるという形式で深掘りされる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が取りたい免許や、試験の日程、入学金納入の締め切り日をしっかり親に言っておかないと、納入期限迄にお金が用意できず不合格になる場合があることが分かった。 ・自分がやりたいこと、将来やりたいことを改めて考え直して大学に行くのか短大に行くのか決めることが大事だと思った。
看護・医療系 (大学・短大) 看護系 (専門学校)	<ul style="list-style-type: none"> ●定期考査が大切、欠席は少なくする。 ●職種内容を理解し、他との違いを分かしておく。 ●専門学校も大学も違いはない。110単位は同じ。 →余裕をもって学びたいのなら大学に利点。 ●大学のメリットは目的以外の資格が取れることと実習先が様々であること。 ●専門学校のメリットは母体となる病院があるため、実習を受けやすいこと。 ●専門学校の一般入試は受かりやすい。点数が同じ場合は評定を見られる。 ●専門学校の英語は高1レベルの実力を確実に。国語力は入学後も大事。国語ができると受かりやすい。 ●模試は偏差値ではなく、弱い分野を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・専門学校、それぞれのメリットを知ることができた。 ・看護師になるために大切なことは、まず自分がなぜ看護師になりたいのかを自分で理解しておくことが大事だとわかりました。 ・チーム医療では、看護だけではなく他の職種の内容も知る必要があると感じた。
一般 専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体から認可されているのが専門学校、認可されていないのがその他教育機関である。 ●専門学校のメリットは、奨学金、学割、大学への編入などが可能である点。デメリットは単位や時間数のクリアが必要な点や、カリキュラムがトレンドに沿っていない場合があるという点。 ●認可外の学校のメリットは、自由なカリキュラム、トレンドが押さえられている、学費が安いなどの点。デメリットは、学歴がつかない、学割なし、退学編入なし、奨学金なし、就学支援なしなどの点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ今は将来何をしたいのかが明確じゃないから真剣に考えないといけないなと思った。 ・認可校と無認可校について初めて知ることができた。 ・大学と比べ、専門学校は就学期間が2年と短く、自分の時間と学業の両立が難しい。

進路だよりは保護者の方にも見せましょう。